

世界津波の日

校長 新妻 茂

関西を中心に活躍している、菊地まどかさんという浪曲師がいます。彼女は昨年の秋頃から、災害の教訓を話芸で伝えたいと「稲むらの火」を題材とした浪曲を各地の学校で公演しています。浪曲を聴いた生徒たちも新鮮に受け止めてくれているそうです。

「稲むらの火」というのは、1854年（嘉永7年＝地震後改元して安政元年）11月5日（旧暦、新暦では12月24日）の夕方から夜にかけて発生した安政南海地震津波に際してのできごとをもとにした物語です。小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）が1896年に著した“A Living God”を中井常蔵という人が児童向けに翻訳・再構成したもので、文部省の教材公募に入選し、昭和12年から昭和22年まで小学国語読本（国定教科書）に掲載されたものです。来年度から小笠原村で使用する中学3年の道徳の教科書にも掲載されています。

もともとなったのは紀伊国広村（現在の和歌山県広川町）のできごとで、主人公・五兵衛のモデルになったのは濱口儀兵衛（のちの梧陵）という人です。

物語の概要

村の高台に住む庄屋の五兵衛は、地震の揺れを感じたあと、海水が沖合へ退いていくのを見て津波が来ることに気付く。祭りの準備に心奪われている村人たちに危険を知らせるため、五兵衛は自分の田にある刈り取ったばかりの稲の束（稲むら）に松明で火をつけた。それを火事とみた村人たちは消火のために高台に集まった。村人たちの眼下で津波が猛威を振るっていた。五兵衛の機転と犠牲的精神により村人たちは命を救われた。

「濱口梧陵手記」には実際にはどうだったのかということが記されています。

11月4日9時頃に強震があった。（安政東海地震）揺れが止んだ後、異常な潮位の変動が見られたので村民を高台にある八幡宮に避難させた。5日になって、海面が穏やかになったので村民らは家に戻った。午後村民2名が井戸の異常な水位低下を訴えていたところ、夕方4時半頃激震があった。その後大津波が広村を襲い、激浪が広川を遡上し、民家や田んぼをのみ込んでいった。儀兵衛たちは闇夜のため高台の方角がわからず逃げ遅れた村民のために、田んぼの稲むらに点火していった。その火を目印に、村民は標高10m以上の高台にある八幡宮の境内まで逃げることができ、多くの命が救われた。

これには余話があつて、濱口儀兵衛は「住民のために郷土を復興する」という信念を燃やし続け、私財を投じて防潮堤を築造しました。広村は安政南海地震の92年後、1946年12月21日の夜明け前、昭和南海地震が発生し約30分後に大津波に襲われましたが、広村堤防は村の居住区の大部分を津波から守っています。

2015年12月4日、国連総会第2委員会は日本を含む142カ国の提案により、この逸話のもととなった11月5日を「世界津波の日」に制定することを全会一致で決議しました。

11月9日を中心として村の防災訓練がありますが、その想定はこの話と同じ、南海トラフを震源とする巨大地震とそれに伴う大津波です。この機会に再度、それぞれが防災について考え、家族で話し合ってみましょう。

11月の主な行事予定

5日（月）学校公開（始）	14日（水）保育実習（3年）
6日（火）学校公開・展示（始）	15日（木）開校50周年記念式典予行
7日（水）芝生の日	17日（土）開校50周年記念式典
8日（木）お弁当の日	21日（水）芝生の日
9日（金）防災訓練	23日（木）勤労感謝の日
10日（土）土曜授業 学習発表会リハーサル	26日（月）期末考査 国語 英語 保健体育
11日（日）学習発表会 学校公開（終）	27日（火）期末考査 社会 数学 音楽
12日（月）振替休業日	28日（水）期末考査 理科 技術家庭 美術
13日（火）振替休業日	

第51回 小中高連合運動会

保健体育科

今年度の連合運動会は、途中強い雨が降りましたが、特に大きな混乱もなく全てのプログラムを終えることができました。大変暑い中でしたが、全ての場面で中学生の活躍が光っていて、逞しさと頼もしさを感じました。

さて、今年度の運動会では、昨年度と違う点がいくつかありました。そのひとつとして「ムカデ競走」が挙げられます。今年度は全学年がつながる「大ムカデ」ではなく、学年毎で「小ムカデ」を作って走るリレー形式の競技に変更しました。これは、昨年度怪我人が多く、本番も競技に参加できない生徒が出てしまった反省を踏まえての変更でした。この変更は「本番までに誰も怪我をせず、全員が参加する運動会にしたい」という学校側の思いがあつての事です。足につけるロープもムカデ専用のものを購入し、安全には万全を期して練習に望みました。無事に怪我人が出ることなく全員が本番のレースに参加でき、何より生徒達が練習から本番まで前向きに楽しく取り組んでくれたので、今回の形にした成果は十分あったと考えています。

「創作ダンス」に関しては、今年のダンスも3年生が主体となって創り上げてくれました。今年は振り付けが複雑なダンスに挑戦しましたが、上級生が下級生に丁寧に笑顔で教える姿を見ることができて、運動会に向けての期待が高まりました。その期待通り本番は100点満点の笑顔で、見ている方も楽しくなるようなダンスを披露してくれました。中心となってダンスを考え、盛り上げてくれた3年生全員に感謝を伝えたいです。

そして今回も私が最も素晴らしいと感じたことは、オガ中学生の係の仕事に取り組む姿です。本番では小学生を誘導する生徒、放送原稿に気持ちを込めて読む生徒、出発の合図を緊張した面持ちで行う生徒、得点記録を間違えないように必死に確認する生徒、競技の進行に支障が出ないように駆け足で用具を準備する生徒…。その他にもグラウンドの様々なところで一所懸命働く生徒達の姿を見て、彼らの責任感、行動力が見て取れました。また本番だけでなく前日準備から片付けまで、本当に良く働いてくれました。中学生の生徒全員のおかげで今年度の運動会も大成功。関わった全ての人の気持ちに残る運動会になりました。

最後になりますが、保護者の皆様を始め、PTA・地域の皆様には、多くのご協力と、温かいご声援をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

～生徒（3年生）作文より～

去年と一昨年は、「めんどくさい」という気持ちがものすごく大きくて、唯一楽しいと思ったのはダンスでした。ムカデも「足が痛くなる」「転ぶのが怖い」と思っていて、積極的にやりたいとは思いませんでした。しかし今年は、「最後だから」という言葉が大きかったからなのかは分かりませんが、全ての種目を心から楽しいと思いました。当然、やる前は嫌でしたが、やってみると意外と楽しくて、「なんで今まで楽しいと思わなかったんだろう」という過去の自分に問いかけている今の自分がいました。

ダンスでは、実行委員のバレー部5人が中心になってくれて、曲も踊りも考えてくれたおかげで本番も練習も楽しんで取り組むことができました。男子は足技にチャレンジして、一人一人が技をこなしていてすごいなと思いました。今までは教えてもらう側だったけど、今は教える側になって、できるようになった人が周りの人に教える姿が感動しました。先生達も一緒になって覚えていたので、先生達も本気なんだな、と思いました。

ムカデは、今年は足につけるひもが変わったからなのか、学年毎になったからなのかは分かりませんが、とても楽しいと思いました。元から怪我している人はいましたが、ムカデによる怪我人はひとりもいなかったのも嬉しかったです。反省点は、半周過ぎた辺りからかけ声ができなくて、それでみんなに迷惑をかけたらどうしようという不安を持ってしまったことです。ムカデは団体競技なので、一人が欠ければ負けてしまいます。声はこの競技で大切です。なのでもう少し頑張れば出せたのかなと思いました。

職対リレーは、今までの人生の中で初めて経験した競技です。最初は自分が出るのが信じられなくて、いろんな人に聞いたけど、実際にやったらすごく疲れるし、後から追ってくる大人が恐かったです。でも、みんなで協力してやれたので、3位になれて嬉しかったし、とても楽しかったです。

生徒会総会

生徒会担当

10月19日(金)1時間目に生徒会総会が行われました。生徒会・委員会の中心が3年生から2年生へと引き継がれていき、2年の新生徒会長を始め、各委員長が目標を発表しました。どの委員会も学校をより良くという思いが伝わってきました。各委員のスローガンは次の通りとなっています。

委員会	スローガン
役員会	日進月歩
1年学級	FCA声かけ大きく あいさつ大きく クラスも大きく
2年学級	Consciously～意識を実幸力に～
3年学級	一体感
生活	安心安全な School life
美化	心もきれいにしよう
保健	牛乳ゴクゴク 手洗いうがいで風邪予防 ～目指せ健康生活～
放送	みんなが楽しめるために進化し続ける放送委員会
図書	一期一会
体育	Achive our goal

パラリンピアン特別授業

保健体育科

10月26日(金)5,6時間目の時間にロンドン大会、リオデジャネイロ大会にパワーリフティング日本代表選手として出場されたパラリンピアン、三浦浩様をお招きして特別授業をしていただきました。

5時間目は図書室にてパラリンピックのこと、パワーリフティングのこと、パラリンピアンとなるまでの経緯等のお話をいただきました。最後には共に仕事をされている仲ということで長瀬剛さんの「STAY DREAM」を披露してくださいました。あきらめなければ、夢は叶う。あきらめなければ、奇跡は起きる。そんなメッセージを、生徒達も真剣な表情で話を聞き、受け取ってくれたようです。

6時間目には体育館に移動してパワーリフティング競技やパラスポーツである「ボッチャ」や「ゴールボール」を体験させていただきました。初めて体験する競技の特性を、生徒達は楽しみながら学ぶことができました。

ある日急に事故に遭い、障害を抱えてしまった事に対してマイナスなオーラは全く見受けられませんでした。「2020 東京パラリンピックを目指している」とおっしゃっていた瞳には、夢を追いかける強さが宿っていました。生きるエネルギーをもらった人は、私だけではなかったと思います。2020 東京パラリンピックに出場した暁にはみんなで応援しましょう。

三浦浩様を始め、この様な機会を作ってくださった全ての方々に改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

相談室から

小笠原村のスクールカウンセラーを担当している〇〇です。東京都の公立学校では、小学校5年生、中学校1年生、高校1年生を対象に、スクールカウンセラーによる全員面接を実施しております。これは子供達とスクールカウンセラーのつながりを作るための面接です。小笠原中学校でも全員面接を行い、生徒の皆さんのちょっとした悩みはもちろんのこと、将来の夢や最近熱中していることなど、幅広く聞かせていただきました。毎年、小笠原の子の豊かな感性とコミュニケーション力に、深く感心させられます。

同じように、保護者の皆様ともお話をする機会も持てればと思っております。昇降口に SC ポストを設置していますので、相談の申し込みや、ご意見ご質問など、お気軽にご投函ください。今後ともよろしく申し上げます。

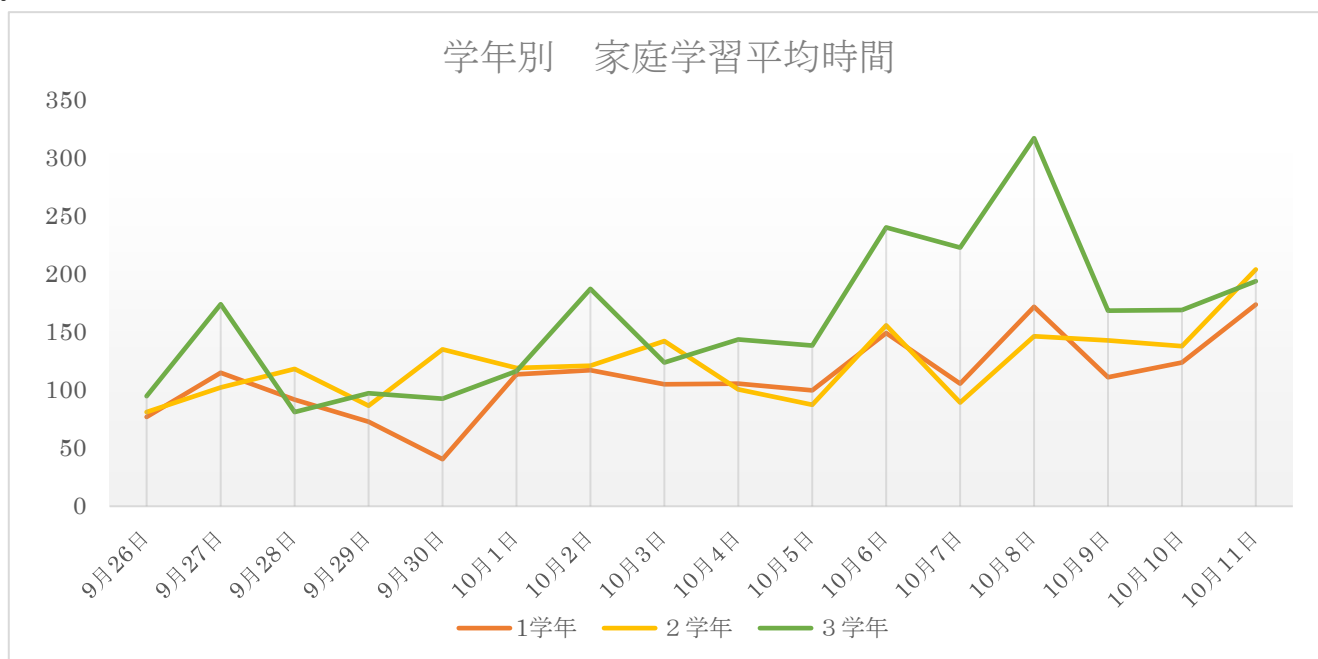
スクールカウンセラー



学習状況について

進路学習担当

2学期中間テスト前、2週間の学習時間を集計したものが下のグラフになります。テスト前2週間の1日の平均学習時間は、1学年は110分、2学年は123分、3学年は159分でした。中間テストは5教科でしたが、期末テストは9教科になります。早めに計画を立てましょう。3年生は受験勉強も平行していかなければなりません。継続的に学習することが大切です。期末テストは11月26日、27日、28日です。毎日の授業を大切にしましょう。



後期委員会発足

生徒会役員選挙、各学年での学活で決定した役員、各種委員会を紹介します。より良い小笠原中学校のためによろしくお願いします。

○生徒会役員

会長
副会長
書記

○委員会

	1年	2年	3年
学級			
生活			
美化			
保健			
放送			
図書			
体育			

(敬称略)